

陶磁器コース 募集案内

陶磁器応用コース

地方独立行政法人京都市産業技術研究所では、京都の陶磁器産業界の将来を担う人材を育成するため、下記のとおり平成30年度研修生を募集します。

研修期間

平成30年4月～平成31年3月（休講期間：夏期25日・冬期9日）
月～金曜日 午前9時～午後4時30分（休日を除く。一部時間外実習あり）

会場

地方独立行政法人 京都市産業技術研究所
※ 一部外部での実習あり

募集定員

約15名（陶磁器応用コース若干名含む）

受講料等

250,000円（予定）
※ 別途、産地研修費等の実費負担あり

受講資格

次のいずれかの要件に該当される方

(1) 陶磁器コース

- ・ 京都市の区域内において、陶磁器製造を営む中小企業の事業主又はその従業員
- ・ 陶磁器に関する技術的業務について1年以上の経験を有する方
- ・ 大学卒業者で窯業に関する課程を修了された方又はこれと同等以上の学力があると認められる方
- ・ 理事長が特に適当と認める方

(2) 陶磁器応用コース

- ・ 前号の要件に該当される方のほか、京都市産業技術研究所「陶磁器コース」を修了された方

申込方法

次の書類を地方独立行政法人京都市産業技術研究所へ郵送又は持参してください。

- ・ 受講申込書 ※この案内の申込書を切り取って使用してください。（HPよりダウンロード可）
- ・ 健康状態に関する調査票（別紙）
- ・ 履歴書（顔写真貼付）

申込期間

平成30年1月5日（金）～23日（火）

※ 郵送の場合は最終日の消印有効とします。

※ 受理後、受験票を送付します。なお、2月2日（金）までに受験票が届かない場合はご連絡ください。

選考試験

平成30年2月9日（金）午前9時～午後4時（会場：京都市産業技術研究所）

(1) 陶磁器コース試験科目

- ・ 作文（陶磁器に関する内容のもの）
- ・ 実技試験（鉛筆デッサン）
- ・ 面接

(2) 陶磁器応用コース試験科目

- ・ 筆記試験（陶磁器全般）
- ・ 面接

※ 可否については、平成30年2月23日（金）付けで、郵送します。

※ 平成30年3月2日（金）までに可否の通知がない場合は、お問い合わせください。

問合せ先

地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 窯業系チーム

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91 京都リサーチパーク9号館南棟（五条通七本松西入南側）
TEL:075-326-6100(代表) FAX:075-326-6200 URL:http://tc-kyoto.or.jp/



地方独立行政法人

京都市産業技術研究所

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91 京都リサーチパーク9号館南棟

TEL:075-326-6100(代表)

FAX:075-326-6200

URL:http://tc-kyoto.or.jp/



研修の概要

多彩な講師陣により、実習を中心とした陶磁器に関する幅広い専門知識を修得する研修を行います。

陶磁器コース:原料から製品制作までの一貫工程における陶磁器製造技術について、実習します。
(成形、釉薬、絵付、焼成、講義、見学、成果発表など)

陶磁器応用コース:素地や釉薬などについて、より高度で専門的に系統立てた実習を、陶磁器コース修了生及びそれと同等の知識のある人を対象に行います。

研修科目と内容

	科目	内容	単位	
陶磁器コース	特別講義	陶磁器史	外部講師による講義	2
		楽茶碗の成形	〃	1
		陶磁器焼成	〃	1
		釉薬・顔料	〃	1
		陶磁器技術・調製法	〃	2
		原料・焼成	〃	2
		経営・マネジメント	〃	1
	特別実習	下絵付実習	呉須下絵付(五寸皿)	8
		上絵付実習	和絵具、洋絵具、金欄手、上絵総合(碗、五寸皿、湯呑、八寸鉢)	8
		打込み成形実習	打込み成形(鉢)	12
		陶塑実習	石膏型押し型成形(香合、置物)	12
		絵画実習	植物、静物などの細密描写	5
	実習	釉薬実習	灰釉実験、土石基礎釉実験、土石色釉実験、素地実験、化粧実験、下絵具実験、製品化実習、自主実験	132
		成形実習	ロクロ成形(土ねり、腕、5寸皿、酒器、注器) 花器(鑄込み成形)ひねり成形(赤楽茶碗、アメリカン楽)、修了制作	118
		焼成実習	ガス炉、電気炉による操炉法、登窯実習	32
	講義	成形・乾燥	当研究所職員による講義	2
		釉薬・顔料	〃	7.5
		ニューセラミックス概論	〃	0.5
		ニューセラミックス成形・乾燥	〃	1
	その他	見学	産地研修等	6
		発表	釉薬成果発表、釉薬発表展、修了作品展	10
		オリエンテーション等	開講式、修了式、清掃等	11
	合計			375

陶磁器応用コース	特別講義	陶磁器史	外部講師による講義	2
		楽茶碗の成形	〃	1
		陶磁器焼成	〃	1
		釉薬・顔料	〃	1
		陶磁器技術・調製法	〃	2
		原料・焼成	〃	2
		経営・マネジメント	〃	1
	実習	釉薬実習	伝統的なものから特殊なものに至る多種の釉薬実験、製品化実習、自主実験	231
		成形実習	各種素地によるロクロ成形、透光性素地による鑄込み成形、楽土によるひねり成形、耐熱素地による成形、修了制作	84
		焼成実習	ガス炉、電気炉による操炉法、登窯実習	23
	その他	見学	産地研修等	6
		発表	釉薬成果発表、釉薬発表展、修了作品展	10
		オリエンテーション等	開講式、修了式、清掃等	11
合計			375	

* 単位数(3時間を1単位とする)

京都市産業技術研究所伝統産業技術後継者育成研修受講申込書

あて先	地方独立行政法人 京都市産業技術研究所理事長
申込年月日	年 月 日
申込者の住所	〒 ー
(ふりがな) 申込者の氏名 TEL ー ー FAX ー ー
職 種	(従事期間 年 箇月)

地方独立行政法人京都市産業技術研究所人材育成事業実施規程 第4条の規定により研修の受講を申し込みます。		
平成30年度京都市産業技術研究所伝統産業技術後継者育成研修		
□陶磁器コース・□陶磁器応用コース		
勤務先の状況	名 称	
	所 在 地	〒 ー
	事 業 主 (法人にあっては、 代表者名)	
	連 絡 先	TEL ー ー FAX ー ー
	業 種	

